

【読者参加企画】

# 私のひとり旅

29

「今回の旅人」 濱岸利夫さん(石川県在住)

今月は石川県在住の濱岸さんの「日本人の心々に触れるひとり旅」第2次世界大戦下、欧州リトアニアで避難民のために「命のビザ」を発給し続けた外交官・杉原千畝と、彼らの救出を陰で支えた人びとの功績を辿ります。

## 5時間かけて、人道の丘へ

第二次世界大戦中、欧州リトアニアで、自らの危険を顧みず数千人のユダヤ人に「命のビザ」を発給し、その命を救った外交官・杉原千畝は有名だ。しかし日本に避難してきたユダヤ人難民を、陰ながら支えた日本人がいたことはあまり知られていない。今回の旅では、杉原の記念館のある岐阜県八百津と、ユダヤ人難民がたどり着いた福井県の敦賀港を訪れてみた。

3月下旬、自宅のある金沢から北陸新幹線で富山に向かった。富山からは特急「ワイドビューひだ」で美濃太田駅へ。太多線、名鉄広見線を乗り継いで名鉄明智駅へ。そこからバスと無料の観光シャトルタクシーで杉原千畝記念館がある人道の丘公園へと向かう。金沢を発つて5時間あまり、ようやく記念館に到着した。

記念館は2階建てで、杉原がユダヤ系難民にビザを発給するに至った経緯が紹介されていた。かつて杉原が赴任していたカウナス総領事館執務室を再現した「決断の部屋」が、当時の雰囲気を出している。

記念館向かいの芝生の広場に、命のビザをモチーフにしたモニュメントがあると聞いて下りていく。モニュメントは杉原が育った八百津町を見下ろす高台に設置してあった。春めいた陽光が西に傾きかけ、人道の丘を照らしていた。

## 岐阜の記念館から 避難民到達の敦賀港へ 杉原千畝ゆかりの地を辿る

### START 1日目



JR金沢駅から富山駅まで北陸新幹線で約20分

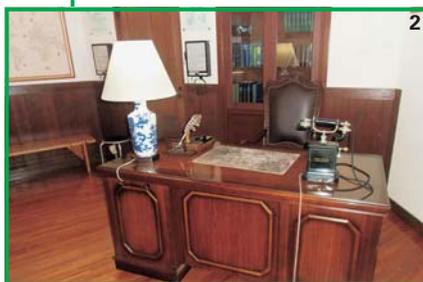


↑富山から美濃太田までは特急「ワイドビューひだ」で3時間半近い道のり

←八百津町を走るタクシー。土・日曜、祝日は八百津観光シャトルタクシーとしても運行している。車体には杉原千畝の肖像が



1日目の夕食は美濃太田駅近くの洋食店「TOM'S惣YA(トムズソーヤ)」(☎0574-25-3345)で、人気メニューのハンバーグを堪能



**杉原千畝記念館** すぎはらちうねぎねんかん  
☎0574-43-2460 岐阜県八百津町八百津1071  
◎9時30分～17時(入館は～16時30分) ㊟月曜(祝日の場合は翌日) ㊟300円 ㊟名鉄明智駅からYA0バス八百津ファミリーセンター行きで約25分、人道の丘北行きYA0バスに乗換え約15分、終点下車すぐ。土・日曜、祝日は八百津ファミリーセンターから無料シャトルタクシーで約10分

- 1.岐阜産の総造りの杉原千畝記念館。展望室からは八百津の町を見下ろせる
- 2.「命のビザ」を書いたリトアニア日本領事館執務室を再現した「決断の部屋」
- 3.数千通のビザをモチーフにしたモニュメント



記念館の外にある杉原の胸像

お小遣い合計 **6万117円**

☑ JR・長良川鉄道乗車券、特急券 **3万2710円**

☑ 宿泊代 2泊 **1万4400円**

☑ 食事代 **4807円**

☑ 入場料など **950円**

☑ 土産代 **7250円**

## 避難民を迎え入れた敦賀の港町

2日目。美濃太田の宿を発ち、長良川鉄道で刃物の街・関市(せき)へ向かう。関駅でレンタサイクルを借りて、**関鍛冶伝承館**へ。刀匠による作品の展示や、実際に刀に触れられるコーナーもあり、人生で初めて刀を手にした。市内を巡り、昼食を済ませて駅に戻る。美濃太田駅まで観光列車「ながら」に乗車するのも今回の旅の目的のひとつだ。真っ赤なボディで、座席や吊り革は地元の木材を使用している。壁には関の刃物などがケースに入って飾られていた。

美濃太田駅で人気の駅弁、松茸釜めしを購入後、高山本線、東海道本線、北陸本線を経由して午後9時過ぎに敦賀駅着。ホテルの部屋で松茸釜めしを堪能した。

3日目。冷たい雨の中、**人道の港 敦賀ムゼウム**がある金ヶ崎を目指す。敦賀港に面して立つ洋館風の館内には、杉原千畝が発給したビザを手にしたユダヤ系難民が敦賀港へ逃れてきた当時の様子や、敦賀市民と共に、JTBの前身であるジャパン・ツーリスト・ビューローが難民を陰ながら支えていたことが紹介されていた。

その後、20世紀初頭に建てられた**敦賀赤レンガ**(国登録有形文化財)で、明治時代の敦賀の街を再現したジオラマなどを見学。駅前商店街にある老舗のみやげ店では、ご主人にかつての敦賀の様子などをうかがうことができた。

今回のひとり旅では、日本人がもつ「人に対する想いの大切さ」あるいは「優しさ」をもう一度考えさせられた。時間に追われるような少し長い旅であったが、心地良い疲労感を感じながら帰途についた。

## 2日目



関市の刃物産業の歴史とその技を伝える、関鍛冶伝承館。かつての刀鍛冶を人形で再現している

### 関鍛冶伝承館

せきかじでんしょうかん  
☎0575-23-3825 岐阜県関市南春日町9-1 ☺9時～16時30分 ㊦火曜・祝日の翌日 ㊧300円 ㊨長良川鉄道刃物会館前駅から徒歩3分



2日目の夕食は、美濃太田駅の人気駅弁「松茸の釜飯」。最後のひとつを購入してきた

関での昼食は、薬膳レストラン「然の膳 関店」(☎0575-23-4520)のやわらか豚カツのカレー排骨麺



### 長良川鉄道観光列車ながら

ながらがわてつどうかんこうれっしゃながら  
☎0575-46-8021(予約センター)

工業デザイナーの水戸岡鋭治氏が手掛けた真っ赤な車体が素敵な長良川鉄道観光列車「ながら」。乗車券のほかに乗車整理券(500円・予約制)が必要

## 3日目



ヨーロッパとの交通の拠点だった、国際港・敦賀の歴史を伝える「人道の港 敦賀ムゼウム」

### 人道の港 敦賀ムゼウム

じんどうのみなと つるがムゼウム ☎0770-37-1035 福井県敦賀市金ヶ崎町44-1(金ヶ崎緑地内) ☺9～17時(入館は～16時30分) ㊦無休 ㊧100円 ㊨JR敦賀駅からぐるっと敦賀周遊バスで約17分、金ヶ崎緑地下車すぐ



## GOAL



上・敦賀赤レンガは、1905年にアメリカの石油会社の倉庫として建てられた、歴史ある建物 右上・敦賀の街並みを再現した、全長27mのジオラマ



### 敦賀赤レンガ つるがあかレンガ

☎0770-47-6612 福井県敦賀市金ヶ崎町4-1 ☺ジオラマ館は9時30分～17時30分(入館は17時まで) ㊦水曜(祝日の場合は翌日) ㊧400円 ㊨JR敦賀駅からぐるっと敦賀周遊バスで約16分、赤レンガ倉庫前下車すぐ

## 皆さまからのプランをお待ちしています!

「私のひとり旅」では、あなたのとっておきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅、誰かに会いに行く旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅をしていただき、その旅の様子をレポートして下さい。〈謝礼〉採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担下さい。

### 応募要項

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募下さい。①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)

### 郵送

〒162-8446 東京都新宿区払方町25-5 JTBパブリッシング ノジュール「私のひとり旅」係 FAX ▶ 03-6888-7839 メール ▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp ※いずれも「ノジュール 私のひとり旅」と明記のうえ、お送りください。